



かたはSP学生Office

教師を目指す学生による「学生文化」「学校文化」の創造と
新たな「学生と学校のWin-Winの関係」の構築

かたはSP通信

と
ひ
ツムぐ学生

2018年度
第2号
4月7日(土)

編集 中村 浩二
(スクールパートナーコーディネーター)

2018年4月6日、入学式

片葩小学校がスタート、そして

‘2018かたはSP’もスタート!!

4月6日金曜日、片葩小学校の入学式が挙行されました。あいにく中村は家の都合で参加できませんでしたが、シニアSPの濱嶋和也先生が写真を撮ってくれていたのので、その写真から入学式当日の様子をうかがうことができました。

卒業式と同じように、入学式は、学校にとって、とても重要な行事です。この新入生の子どもたちの笑顔がいつまでも続くように、教師は頑張っていかなければなりません。教師にとっては、常に“子どもファースト”なのですから…。



6年生に手を引かれて入学式の会場に向かう新入生

その入学式を支える力として、2018新WS Pの仲間が頑張ってくれました。昨日参加してくれたSPさんは、森田悠揮くん(愛知大学4年)と加藤もかさん(金城学院大学4年)の二人です。ともに中学校のWS Pも経験したいということで、森田君は北部中学校のWS Pを、加藤さんは東浦中学校のWS Pを兼務します。また、加藤さんは、片葩小学校の卒業生でもあります。

この日の二人の活動は、裏方の仕事ばかりではなかったかと思います。しかし、実際の学校現場ではそういった裏方の活動が学校全体を支えているのであり、それを実感することができたのではないのでしょうか。また、学校を支えているのは教師ばかりではありません。この日は、新6年生の子どもたちがしっかりと入学式を支えてくれたことでしょうか。森田くんと加藤さんは、その様子もしっかり見ていてくれたようです。



森田くんの活動記録から

今年度初めての活動が入学式だったので、気持ちを新たにして臨みました。新6年生も最高学年としての自覚に芽生えているようで、とても成長した様子を見せてもらうことができました。

次回の活動がいつになるかはまだ決まっていませんが、これからのウィークリーSPの活動がとても楽しみにになりました。



加藤さんの活動記録から

初めてのウィークリーSPの活動で、母校ですが、とても緊張しました。入学してきた新入生の中にも、とても緊張した表情をしている子がいました。新しい環境には誰もが緊張するので、子どもたちの表情や行動に気をつけていかなければならないと思いました。また、6年生の子たちが、新入生や来賓の方を立派に案内している様子がとても印象に残りました。



★シニアSPの中には、本年度、1年生や6年生の担任になった人が多くいます。そんな先輩たちの声を次号では載せたいと思います。